

家 計 調 査 報 告〔家計収支編〕

- 平成24年 1 ～ 3 月期平均速報 -

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	246,023 円		
前年同期比	名目 0.9%の増加	実質 0.5%の増加	
二人以上の世帯は,	284,951 円		
前年同期比	名目 1.5%の増加	実質 1.1%の増加	
単身世帯は,	153,607 円		
前年同期比	名目 0.9%の減少	実質 1.3%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.3%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.3%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 3.2%の減少

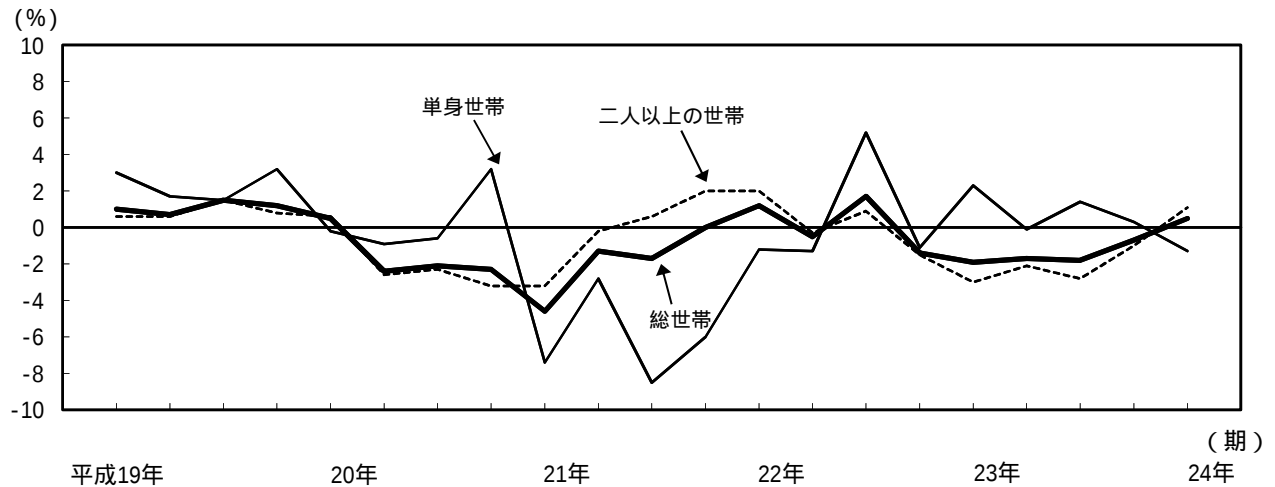
：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.8%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.2%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 0.9%の増加
	平均消費性向	81.5 %	
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 3.1%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 2.3%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 1.4%の増加
	平均消費性向	82.8 %	

消費支出の推移

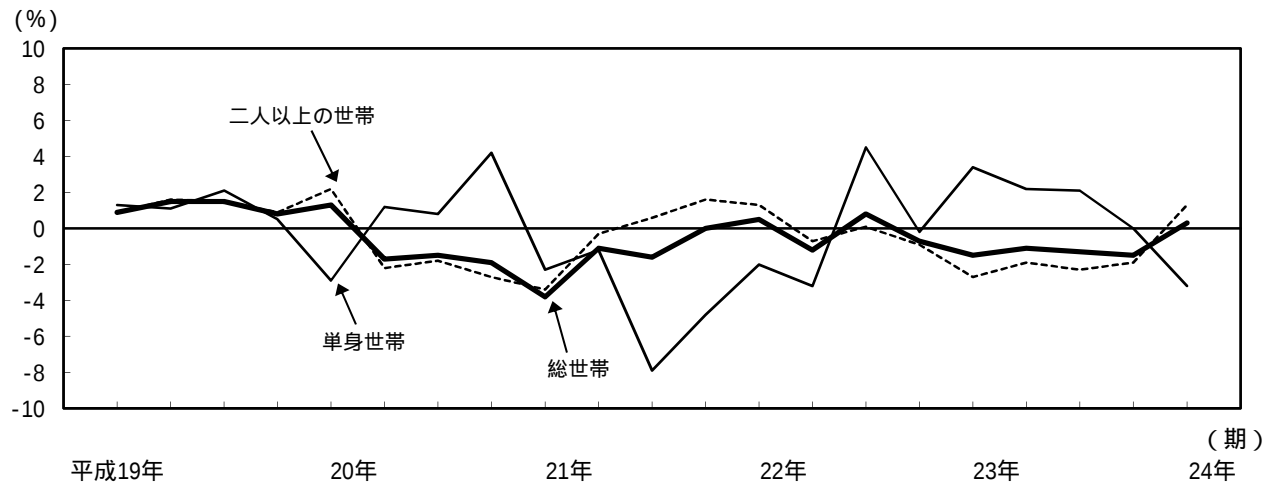
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成21年				22年				23年				24年
総世帯	-4.6	-1.3	-1.7	0.0	1.2	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5
二人以上の世帯	-3.2	-0.2	0.6	2.0	2.0	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1
単身世帯	-7.4	-2.8	-8.5	-6.0	-1.2	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.3

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

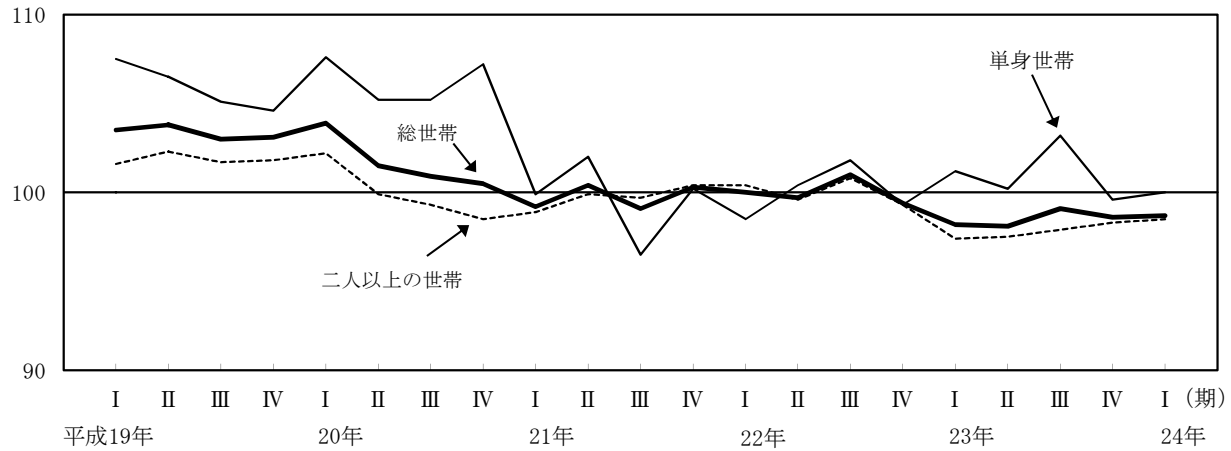


消費支出(除く住居等)	平成21年				22年				23年				24年
総世帯	-3.8	-1.1	-1.6	0.0	0.5	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3
二人以上の世帯	-3.4	-0.3	0.6	1.6	1.3	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.9	1.3
単身世帯	-2.3	-1.2	-7.9	-4.8	-2.0	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	0.0	-3.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(平成22年=100)



消費支出	平成21年				22年				23年				24年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I (期)
総世帯	99.2	100.4	99.1	100.3	100.0	99.7	101.0	99.4	98.2	98.1	99.1	98.6	98.7
対前期変化率(%)	-1.3	1.2	-1.3	1.2	-0.3	-0.3	1.3	-1.6	-1.2	-0.1	1.0	-0.5	0.1
二人以上の世帯	98.9	99.9	99.7	100.4	100.4	99.6	100.8	99.3	97.4	97.5	97.9	98.3	98.5
対前期変化率(%)	0.4	1.0	-0.2	0.7	0.0	-0.8	1.2	-1.5	-1.9	0.1	0.4	0.4	0.2
単身世帯	99.9	102.0	96.5	100.2	98.5	100.4	101.8	99.3	101.2	100.2	103.2	99.6	100.0
対前期変化率(%)	-6.8	2.1	-5.4	3.8	-1.7	1.9	1.4	-2.5	1.9	-1.0	3.0	-3.5	0.4

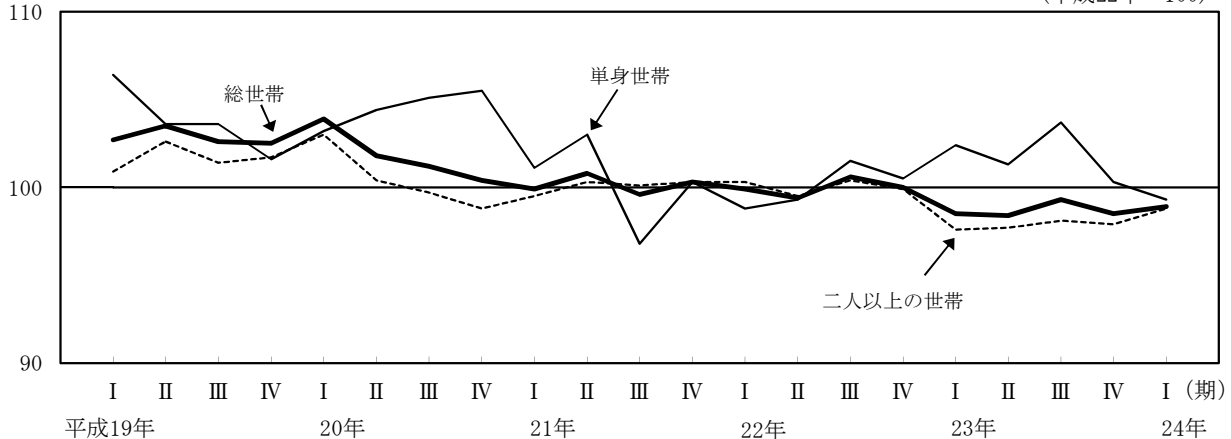
注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、過去に遡って改定した。

図4 消費支出（除く住居等※）（季節調整済実質指数）の推移

(平成22年=100)



消費支出(除く住居等※)	平成21年				22年				23年				24年
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I (期)
総世帯	99.9	100.8	99.6	100.3	99.9	99.4	100.6	100.0	98.5	98.4	99.3	98.5	98.9
対前期変化率(%)	-0.5	0.9	-1.2	0.7	-0.4	-0.5	1.2	-0.6	-1.5	-0.1	0.9	-0.8	0.4
二人以上の世帯	99.5	100.3	100.1	100.3	100.3	99.5	100.4	99.9	97.6	97.7	98.1	97.9	98.8
対前期変化率(%)	0.7	0.8	-0.2	0.2	0.0	-0.8	0.9	-0.5	-2.3	0.1	0.4	-0.2	0.9
単身世帯	101.1	103.0	96.8	100.3	98.8	99.3	101.5	100.5	102.4	101.3	103.7	100.3	99.3
対前期変化率(%)	-4.2	1.9	-6.0	3.6	-1.5	0.5	2.2	-1.0	1.9	-1.1	2.4	-3.3	-1.0

注1 Iは1～3月期、IIは4～6月期、IIIは7～9月期、IVは10～12月期を表す。

2 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。

3 季節調整値は、過去に遡って改定した。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	246,023	0.9	0.5	0.5		6期ぶりの実質増加
食 料	56,540	2.4	1.2	0.27	<増 加> 外食,乳卵類など	4期連続の実質増加
住 居	16,593	-0.1	0.1	0.01	<増 加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	24,497	4.9	0.2	0.02	<増 加> ガス代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	7,352	4.5	8.0	0.23	<増 加> 家庭用耐久財,室内装備・装飾品など	13期連続の実質増加
被服及び履物	9,778	7.1	6.5	0.24	<増 加> 洋服,履物類など	2期連続の実質増加
保健医療	10,612	-1.2	-0.2	-0.01	<減 少> 保健医療サービス	5期ぶりの実質減少
交通・通信	33,024	2.9	1.8	0.23	<増 加> 自動車等関係費	6期ぶりの実質増加
教 育	8,312	4.7	4.5	0.15		
教 養 娯 楽	24,088	-4.2	-1.8	-0.19	<減 少> 教養娯楽用耐久財,書籍・他の印刷物	2期連続の実質減少
その他の消費支出	55,227	-2.3	(-2.7)	(-0.62)	<減 少> 仕送り金,こづかいなど	6期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

<増加項目>

実質寄与度

自動車等関係費	[0.55]		自動車購入,自動車等関連用品
外食	[0.28]		飲酒代,和食
教養娯楽サービス	[0.21]		国内パック旅行費
家庭用耐久財	[0.11]		電気冷蔵庫,電気洗濯機
乳卵類	[0.08]		ヨーグルト,チーズ
洋服	[0.08]		女子用学校制服,子供服

<減少項目>

教養娯楽用耐久財	[-0.42]		テレビ,ビデオデッキ
通信	[-0.15]		移動電話通信料,運送料
交通	[-0.14]		鉄道運賃,航空運賃
交際費	[-0.13]		贈与金
穀類	[-0.09]		米,中華めん
保健医療サービス	[-0.09]		他の入院料*,出産入院料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

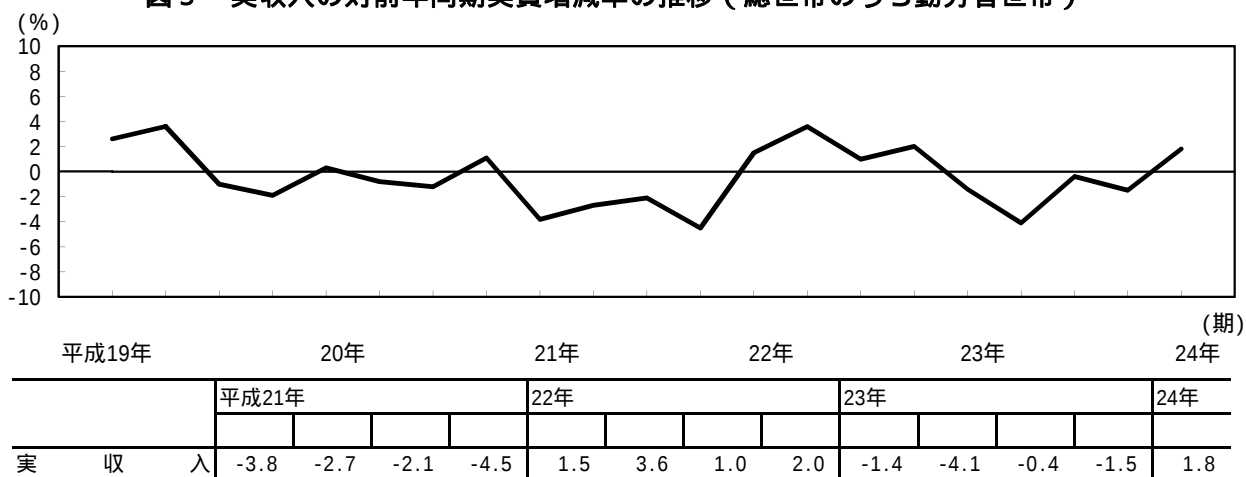
* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成24年1～3月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	404,964	2.2	1.8	1.8	5期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	332,901	2.1	1.7	1.39	2期ぶりの実質増加
定 期 収 入	327,302	2.1	1.7	1.34	2期連続の実質増加
臨 時 収 入・賞 与	5,600	4.0	3.6	0.05	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	35,853	6.3	5.9	0.50	2期連続の実質増加
う ち 女 性	35,315	5.7	5.3	0.45	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	5,938	-9.2	-9.6	-0.16	4期連続の実質減少
非 消 費 支 出	68,815	5.1	-	-	3期連続の増加
可 処 分 所 得	336,149	1.6	1.2	-	5期ぶりの実質増加
消 費 支 出	274,051	1.3	0.9	-	5期ぶりの実質増加
平 均 消 費 性 向(%)	81.5	(前年同期) 81.8	(ポイント差) -0.3		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	284,951	1.5	1.1	1.1		6期ぶりの実質増加
食 料	65,075	2.6	1.4	0.32	<増 加> 外食, 乳卵類など	8期ぶりの実質増加
住 居	15,874	-1.3	-1.1	-0.06	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	28,829	4.8	0.1	0.01	<増 加> ガス代, 電気代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	8,926	4.8	8.3	0.25	<増 加> 家庭用耐久財, 家事雑貨など	4期連続の実質増加
被服及び履物	11,387	5.9	5.3	0.20	<増 加> 洋服, シャツ・セーター類など	2期連続の実質増加
保健医療	12,665	-1.0	0.0	0.00	<同水準>	
交通・通信	38,804	2.9	1.8	0.25	<増 加> 自動車等関係費	6期ぶりの実質増加
教 育	11,815	5.3	5.1	0.20	<増 加> 補習教育, 授業料など	3期連続の実質増加
教 養 娛 楽	27,254	0.0	2.5	0.24	<増 加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品	5期ぶりの実質増加
その他の消費支出	64,323	-1.7	(-2.1)	(-0.48)	<減 少> 仕送り金, こづかい	16期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[0.54]		国内パック旅行費, ゴルフプレー料金
自動車等関係費	[0.46]		自動車購入, 自動車等関連用品
外食	[0.26]		飲酒代, 和食
諸雑費	[0.20]		婚礼関係費, 葬儀関係費
補習教育	[0.17]		幼児・小学校補習教育, 高校補習教育・予備校
家庭用耐久財	[0.13]		電気冷蔵庫, 電気洗濯機

< 減少項目 >

教養娯楽用耐久財	[-0.34]		テレビ, ビデオデッキ
通信	[-0.14]		移動電話通信料, 運送料
穀類	[-0.10]		米, カップめん
保健医療サービス	[-0.10]		他の入院料*, 出産入院料

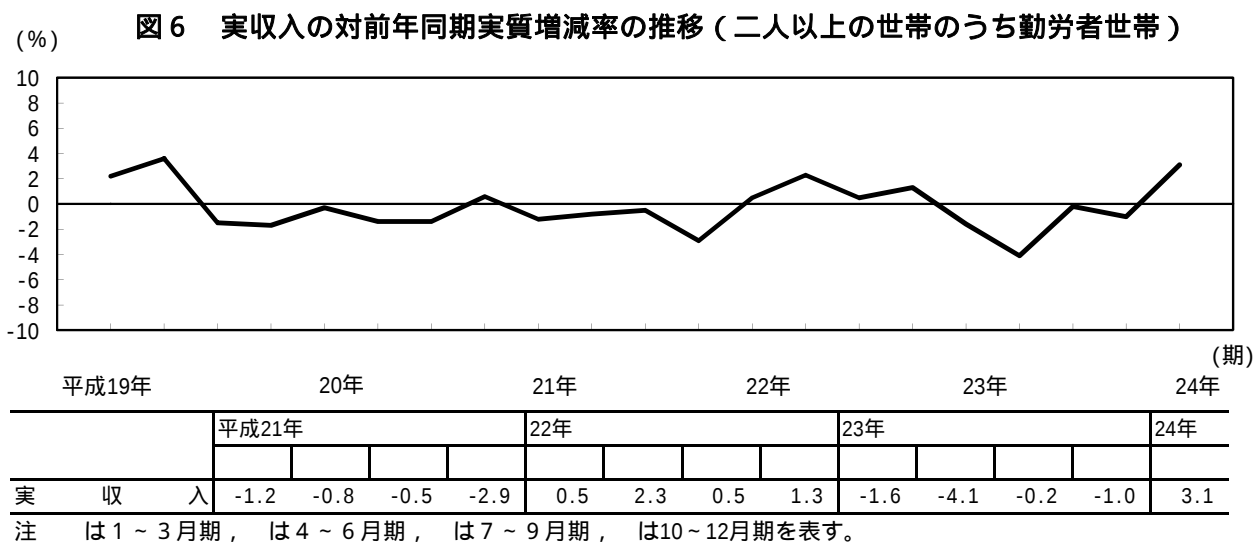
注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	451,671	3.5	3.1	3.1	5期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	357,731	3.7	3.3	2.61	2期ぶりの実質増加
定 期 収 入	351,189	3.5	3.1	2.43	2期連続の実質増加
臨時収入・賞与	6,542	14.4	13.9	0.18	2期ぶりの実質増加
配 偶 者 の 収 入	48,987	6.6	6.2	0.65	2期連続の実質増加
う ち 女 性	48,251	6.0	5.6	0.58	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	8,113	-9.0	-9.4	-0.19	4期連続の実質減少
非 消 費 支 出	76,244	7.4	-	-	3期連続の増加
可 処 分 所 得	375,427	2.7	2.3	-	5期ぶりの実質増加
消 費 支 出	310,701	1.8	1.4	-	5期ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	82.8	(前年同期) 83.5	(ポイント差) -0.7		



単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成24年1～3月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	153,607	-0.9	-1.3	-1.3		3期ぶりの実質減少
食 料	36,275	2.1	0.9	0.21	<増 加> 外食,酒類など	4期連続の実質増加
住 居	18,295	2.4	2.6	0.30	<増 加> 設備修繕・維持	3期連続の実質増加
光 熱 ・ 水 道	14,208	6.3	1.5	0.13	<増 加> 他の光熱,電気代	4期ぶりの実質増加
家具・家事用品	3,617	4.0	7.4	0.17	<増 加> 家事サービス,室内装備・装飾品など	2期連続の実質増加
被服及び履物	5,960	13.8	13.1	0.44	<増 加> 洋服,履物類など	4期連続の実質増加
保健医療	5,740	-1.1	-0.1	0.00	<減 少> 医薬品,保健医療サービス	2期ぶりの実質減少
交通・通信	19,312	3.7	2.6	0.31	<増 加> 自動車等関係費	3期ぶりの実質増加
教 育	0	-	-	-		
教養娯楽	16,573	-17.4	-15.4	-1.99	<減 少> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	2期連続の実質減少
その他の消費支出	33,627	-4.2	(-4.6)	(-1.03)	<減 少> 諸雑費,交際費など	2期連続の減少

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

教養娯楽サービス	[-1.21]		外国パック旅行費,宿泊料
諸雑費	[-0.95]		寄付金,祭具・墓石
交際費	[-0.84]		贈与金
教養娯楽用耐久財	[-0.78]		テレビ,パーソナルコンピュータ
交通	[-0.47]		鉄道運賃,鉄道定期代
調理食品	[-0.24]		弁当,そうざい材料セット

< 増加項目 >

自動車等関係費	[1.01]		自動車等部品,自動車整備費
外食	[0.35]		中華食,飲酒代
設備修繕・維持	[0.31]		設備器具,外壁・塀等工事費
酒類	[0.22]		ワイン,清酒
洋服	[0.21]		婦人服,婦人用上着

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 総世帯）

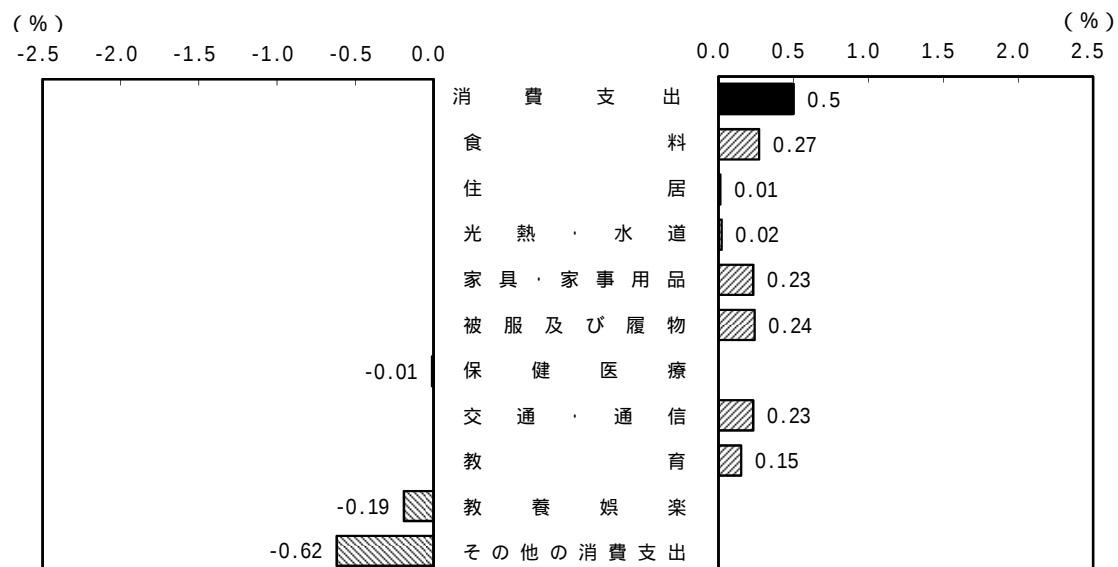


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 二人以上の世帯）

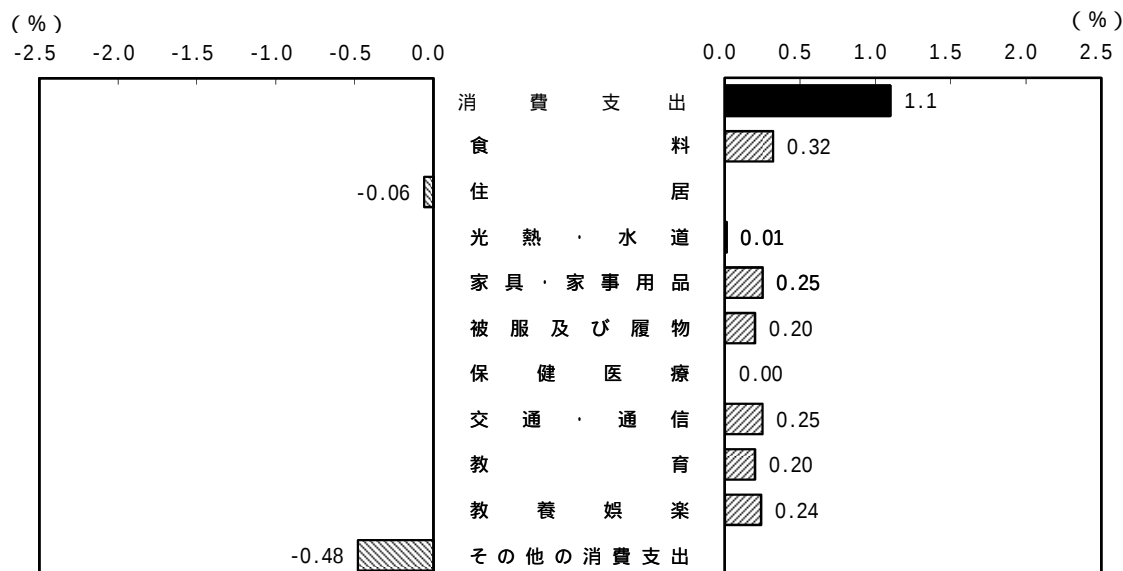
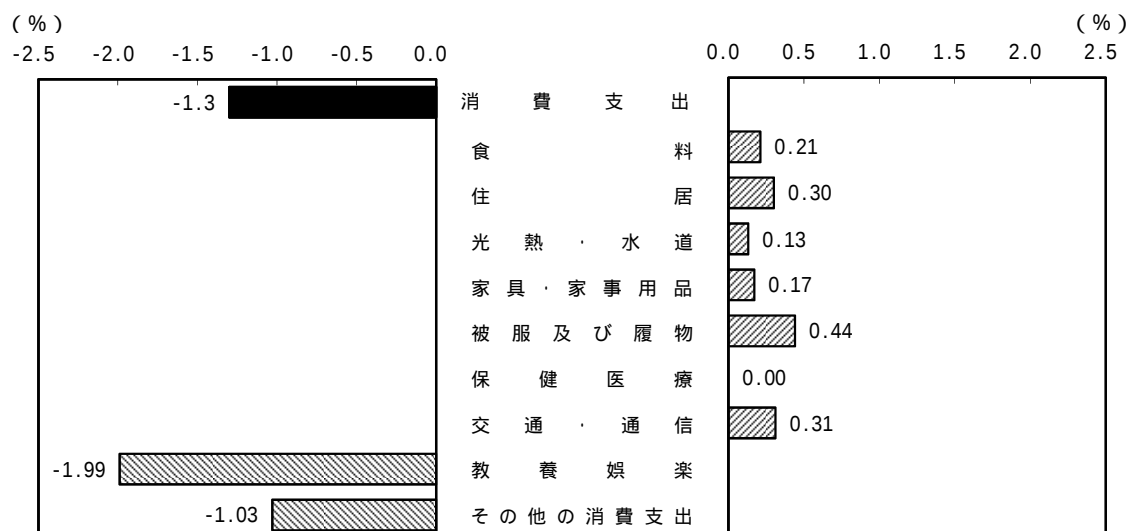


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成24年1～3月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

（注）愛知県における家計調査の不正事務のため、平成23年12月分から24年2月分までの結果に係る部分については、後日、再集計を行う予定。なお、平成24年3月分の結果については不正事務に係る調査票を除いて集計。